

職員からのメッセージ



F 検察事務官（出身庁：松江地検）

ひとこと

危ぶむなかれ
迷わず行けよ
行けばわかるさ



【現在の職務内容】

私は、総務課長として部下職員と共に、検察業務が円滑に遂行できるよう「縁の下の力持ち」的な仕事に携わっております。例えば、職員の勤務時間や健康管理に関する事務、出張に関する事務、文書の受付や発送に関する事務のほか、複数の法務行政機関が入居する合同庁舎の防火・防災管理に関する事務などが挙げられます。

このように総務課が所管する事務は広範囲にわたりますが、どれも検察業務を支えるために欠かすことのできない大事な仕事だと思っております。

【地検との違い】

残念ながら高検を舞台とした映画やドラマは見たことがありません。

やはり事件は現場で起こっているのです！

どこかで聞いたフレーズかもしれませんが、だからといって高検では難しい会議ばかりしている訳ではなく、地検の捜査・公判活動やそれを支えるための様々な業務が円滑かつ適正に遂行されるよう、地検職員の活躍をサポートしたり、上級庁である法務省や最高検などと協力しながら、誰もが働きやすい職場環境の実現に向け、重要な役割を担っております。

ちなみに高検で勤務している職員は、管内地検出身者で構成されており、執務室ではいろいろな方言が飛び交うなど、一つの場所で働きながら各地検の特色を肌で感じる事ができてとても興味深いものがあります。

【メッセージ】

地元志向だったにもかかわらず「検察庁」という言葉の響きに憧れて入庁し、早30年余りが過ぎました。それなりに転勤も経験しましたが、これまで長く続けてこられたのは、厳しくも温かく指導していただいた上司や先輩をはじめ、苦楽を共にしてきた同僚・後輩のお陰だと感謝しており、人とのつながりの大切さを感じずにはられません。もちろん家族の存在も欠かせませんが…

公務員を志望されている皆さん、一言で公務といっても様々な職種がありますので、いろいろな官庁を訪問し、職員から話を聞いたり情報を集めたりして、自分自身が納得のいく職場を見つけてください。その候補の一つに「検察庁」とあると、とても嬉しいです。